

東通村漁業連合研究会「サケ漁況の見通しに係る研修会」

9月25日（金）、村体育館において村漁業連合研究会（会長：二本柳亮）が「サケ漁況の見通し」についての研修会を開催し、地方独立行政法人 青森県産業技術センター 内水面研究所 調査研究部長 榎 昌文 氏より講演をしていただきました。

サケの回帰予測は、過去の河川回帰尾数、沿岸漁獲尾数と年齢構成、海況予報等から予測されますが、今年の太平洋沿岸での河川回帰尾数は6万4千尾、沿岸漁獲尾数は92万尾の見込みであり、サケ漁の見通しは「昨年を上回るものの引き続き低水準の水揚げ」と予測されるとのことでした。これは、今年回帰するサケの主群4年魚の資源量が昨年（3年魚）少なかったため、サケ稚魚が海に下った後の海洋環境の変化も資源量に影響しているものと考えられております。

昨年のサケの水揚量は、全国的に平成で最低水準、県内では過去30年で最低となり、当村においては平成以降で最も少ない約636トンと不漁だったことから、会員は講師の説明に熱心に耳を傾けていました。



講師 榎調査研究部長



熱心に耳を傾ける参加者の皆さん

令和2年度原子力防災訓練を実施します

このたび、東通村は、青森県、むつ市、六ヶ所村、横浜町、野辺地町とともに、東通原子力発電所において原子力災害が発生した場合を想定し、防災体制の確立、防災業務関係者の緊急時対応能力の向上及び地域住民の防災意識の高揚を図ることを目的として、原子力防災訓練を実施します。

《実際の災害とお間違えにならないようご注意ください！》

- 実施日 令和2年11月11日（水）13：00～19：00頃（東通OFCヘリポート離着陸訓練）
令和2年11月12日（木） 8：30～15：30頃（避難訓練等）

○主な訓練項目

- ・住民避難訓練
- ・住民、施設等に対する通報連絡訓練（広報） 他

○お願い

- ・訓練当日は、防災行政用無線や一部の地域で広報車などを使った広報訓練を行います。訓練参加車両、訓練関係者が活動しますので、ご協力をお願いします。
- ・「旧小田野沢小中学校」、「旧南部中学校」及び「東通オフサイトセンター向いヘリポート」にてヘリによる離着陸訓練を実施します。騒音等でご迷惑をおかけしますがご了承ください。（時間等は防災行政用無線、IP告知端末などでお知らせします）
- ・広報訓練の一環として、携帯電話・スマートフォンに**緊急速報メール**でのお知らせも行います。

＜問合せ先＞ 青森県原子力安全対策課 ☎017-734-9252
東通村原子力対策課 ☎27-2111（内線232）